



大明小学校

校長室から

令和2年11月5日

No. 13

文責 校長 穴山 直樹

親も子どもに育てられる



私は親が子どもを育てるのと同じように親も子どもに育てられているだと思います。それはいつかと考えると親の思い通りに子どもがならないときではないかと思います。「もう、反抗ばかりして…」とは、よく聞く話ですが、反抗的な子をどうしたらいいのか考えるときが子どもに親として育てられている瞬間ではないかと思います。そのときが親のチャンスであり、子どものチャンスでもあるのではと思います。子どもが思った通りにいかなくて、おろおろする親であったり、強引に子どもをそうしようという親であったり…、そういう経験を通して、知らず知らずのうちに、親が育てられていくものではないかと思います。子どもとのやり取りのなかで、思いがけない行動にカッとなり、つい怒鳴ってしまったり、やさしくしてあげたいのに思いがけない言動をしてしまったり…など（私の経験ですが、）反省をくり返しながら、親というのは子どもに育てられていくものだと思います。その時は冷静に自分自身を見つめる余裕などありませんが、後から必ずよい思い出にもなります。子どもを一生懸命育てることは自分自身を育てることにつながっているのだと思います。

和顔愛語（わけんあいご・わがんあいご）



私の好きな言葉です。いつもこうありたいと自分に言い聞かせている言葉でもあります。和やかな顔と思いやりの言葉で人に接するという意味です。実は和顔愛語には続く言葉があります。先意承問（せんいしょうもん）です。相手の気持ちをいたわり、先に相手の気持ちを察して、相手のために何ができるか、自分自身に問うという意味です。書くのは簡単ですが、日常生活で実践していくのは難しいことです。でも、にこやかな表情と優しい声掛けや相手を思いやる心を意識することで、必ず人間関係は良い方向に進んでいくはずです。今日も明日も「和顔愛語 先意承問」を心がけていきたいです。

使用済みテニスボールがいただけますか



学校では子どもたちが使用している机やいすの脚の底に硬式テニスボールに切り込みを入れて取り付けています。こうすることで子どもたちが安全にいすや机を運ぶことができたり、立ったり座ったりが静かにできたりするなどとても価値ある「スグレモノ」ものです。これまで先生方のお知り合いの方やテニスクラブさんからいただいていたのですが、そろそろ在庫が底をついてきています。各家庭でご寄付いただける硬式テニスボールがありましたら、学校にご連絡ください。また、お知り合いの方でご寄付いただける方がいましたらご連絡ください。児童1人分で机に4個、いすに4個、計8個必要です。たくさんあればあるほどうれしいです。ぜひ、ご協力をお願いいたします。

